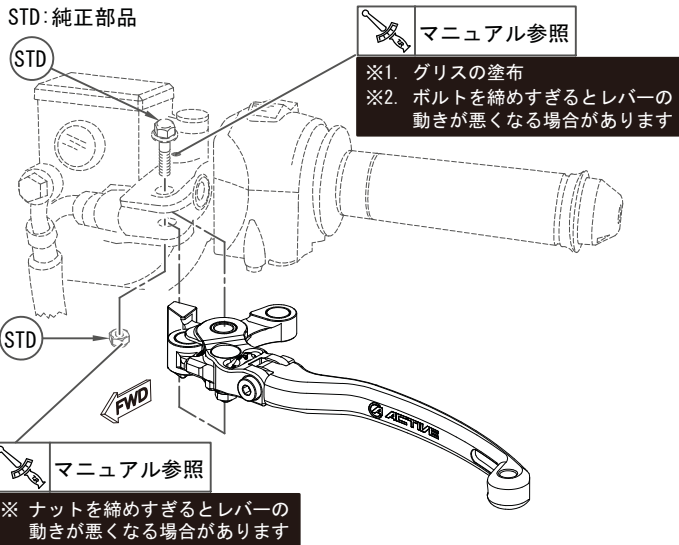


基本取付手順

- ① ノーマルレバーを取り外します。
 - ② ノーマルピボットボルトにシリコン系グリスを塗布し、取り付けます。
- ⚠ 注意：ノーマルピボットボルトが磨耗・変形・腐食している場合は新品と交換してください。
- ⚠ 注意：ピボットカラー等ノーマル部品を使用する車種があります
裏面の車種別特記事項を参照してください。

■取り付け例：油圧式/ダイヤルタイプ
※車種によってレバーの形状は異なります。

STD:純正部品

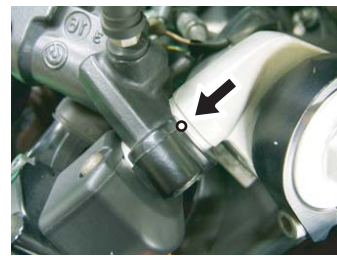
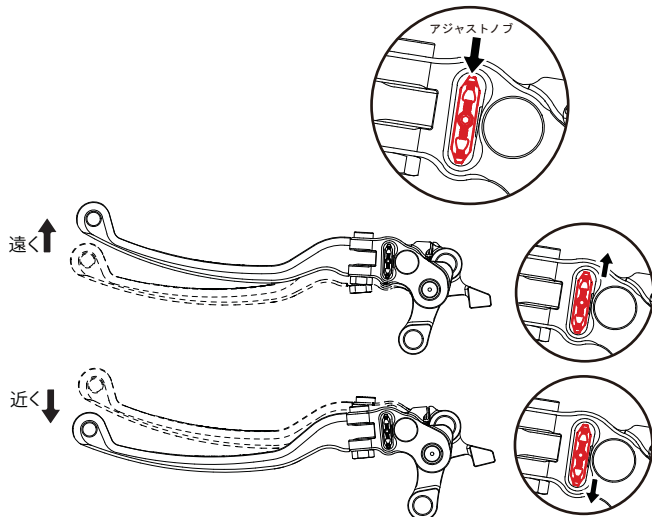


⚠ 調整

レバーがメーター・カウル等に接触する場合は、ハンドル又はスイッチ等の位置を前後左右に調整してください。

■レバー調整方法

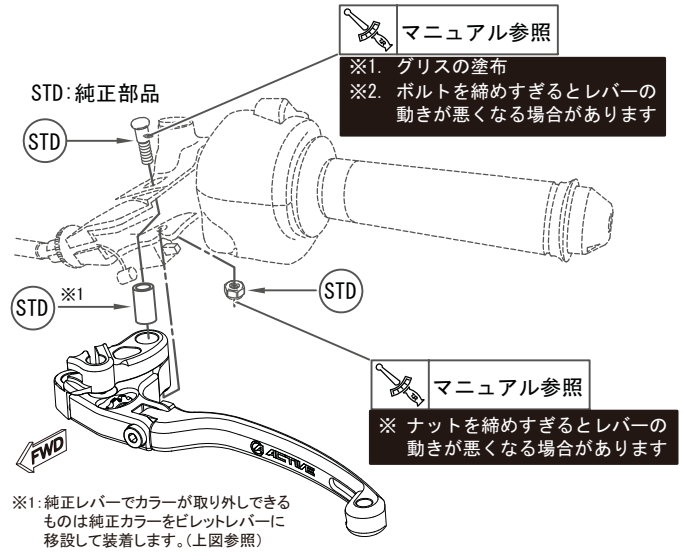
- ① レバーの距離の調整（アジャストノブを回します）
奥へ：距離が遠くなります 手前へ：距離が近くなります
- ② レバー使用範囲
実際にレバーを握って、ベストポジションを決定してください。
必要以上に広くしたり、狭くしないでください。



⚠ 装着時確認事項

ハンドルバーにあるクラッチマスター位置決め用のポンチマークにクラッチマスターの位置が合っていることを必ず確認してください。クラッチマスターの位置がズレている場合は位置を合わせてからレバーの交換を行ってください。

■取り付け例：ワイヤー式/ダイヤルタイプ
※車種によってレバーの形状は異なります。

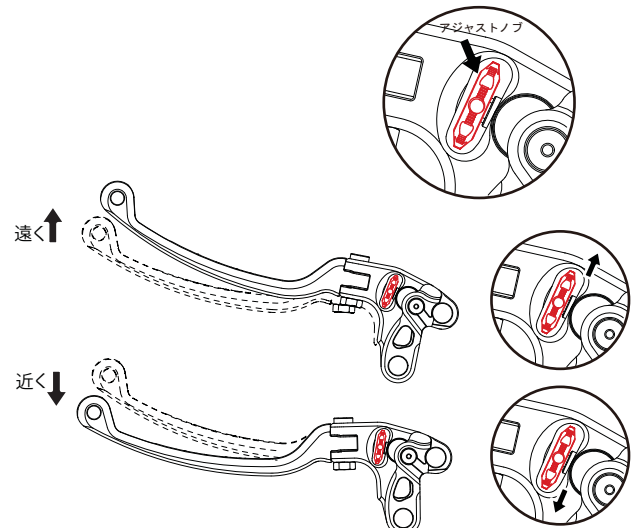


⚠ 調整

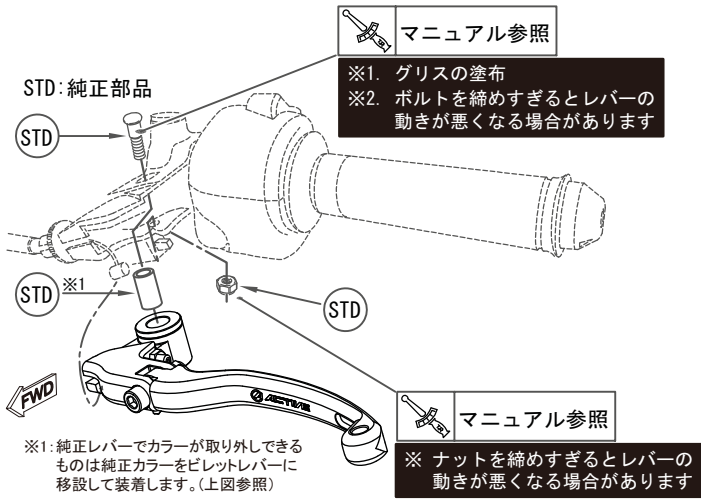
レバーがメーター・カウル等に接触する場合は、ハンドル又はスイッチ等の位置を前後左右に調整してください。

■レバー調整方法

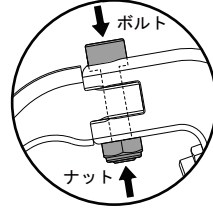
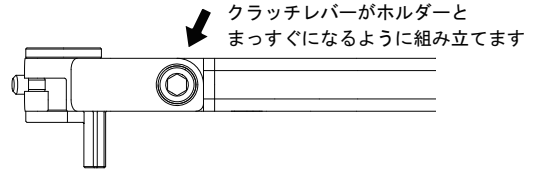
- ① レバーの距離の調整（アジャストノブを回します）
奥へ：距離が遠くなります 手前へ：距離が近くなります
- ② レバー使用範囲
実際にレバーを握って、ベストポジションを決定してください。
必要以上に広くしたり、狭くしないでください。



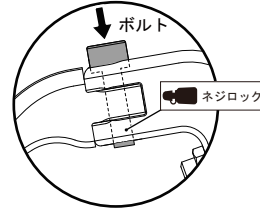
■取り付け例：ワイヤー式/ボルトタイプ
※車種によってレバーの形状は異なります。



■レバー交換方法



※ナット固定タイプ
ボルト
締め付けトルク：14Nm
ナット
締め付けトルク：10Nm

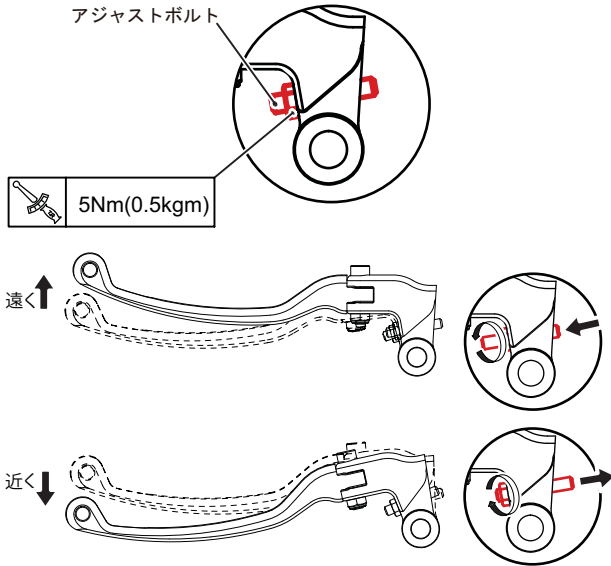


※ナット無タイプ
ボルト
締め付けトルク：14Nm
ボルトにはネジロック（低強度）を塗布し取り付けてください。

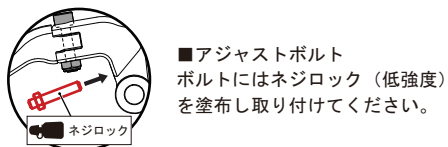


■レバー調整方法

- ① レバーの距離の調整（アジャストボルトを回します）
左回し：距離が遠くなります 右回し：距離が近くなります
- ② レバー使用範囲
実際にレバーを握って、ベストポジションを決定してください。
必要以上に広くしたり、狭くしないでください。



■取付方法



警告

- ご使用ごとに各部を点検し以下の症状が見られた場合は直ちにご使用を中止し、新品と交換してください。
※ レバー本体に変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
- 作業を行う際は、必ず水平な場所でスタンド及び車両を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
(作業中オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります)
- レバー距離を近くにした場合、レバーを握った時にクラッチが完全に切れていない場合があります。
(レバー移動範囲と有効使用範囲を必ず確認ください)
- 法定速度を厳守し安全運転を心がけてください。
(転倒による怪我・死亡事故の原因になります)

注意

- 取り付けは技能・知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店または認証工場で行ってください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- 当社指定車種・指定対応品番以外への取り付けは行わないでください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- お客様による分解や修理・改造・加工は危険ですので行わないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社までご連絡ください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- 製品取り付け後は、走行前に必ず走行に関する機能が正常である事を確認した上で走行を行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合には、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行ってください。
- 走行時には運行前点検を実施してください。
- 取り付けボルトおよびナットは約100km走行後、改めて規定トルクにて増し締めを行ってください。
- クレームに関しては商品に不良があった場合に限り、お買い上げ後1週間以内を限度として修理及び交換させていただきます。
但し、商品に加工等を施したり、商品以外の損失・損害についてはその責を負いかねますのでご注意ください。

作業上の注意

- レバー脱着交換の際は各部のボルト・ナット類の緩みがない事を確認してください。
- レバー脱着交換の際はマスターシリンダー本体の点検・清掃・グリスアップを行ってください。(油圧式)
- 純正レバーのピボットボルトは再使用いたしません。ピボットボルトに腐食・変形・磨耗がある場合は新品と交換してください。
- レバー脱着交換の際には、ピボットボルトにシリコン系グリスを塗布してください。
- レバー脱着交換の際はレバーの作動確認を行ってください。(レバーの作動確認・クラッチの効き具合等)
(レバーがピストンを押したまま、走行するとブレーキがフェードを起し大変危険です/油圧式)
- レバー脱着交換後はハンドルを切ってレバーと車体(メーター・カウル・タンク等)に接触していないことを確認してください。

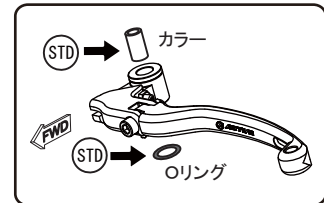
使用上の注意

- レバーの移動範囲と有効使用範囲は異なります。必ず使用者ご自身で手の大きさに合わせた有効使用範囲をご確認ください。
- アジャストボルトにはモリブデングリスが塗布してあります。定期的なメンテナンスを行ってください。(油圧式)
- レバー距離を近くにした場合、クラッチスイッチが作動しなくなる場合があります。
※スイッチが作動しない場合はクラッチレバーの距離を少し遠くにしてスイッチが作動する範囲でご使用ください。
(エンジンが始動できない、エラー表示がでるなどの症状が発生する恐れがあります)

車種別注意事項

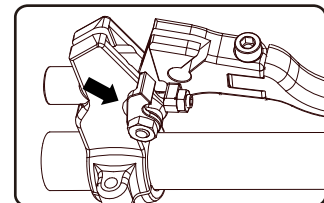
- ワイヤー式レバーのピボット部のカラーについて
純正レバーでカラーが取り外しできるものは純正カラーをピレットレバーに移設して装着します。(右図参照)

- その他
YZF-R25系 : 純正カラー及びOリングを使用(右図参照)



- SUZUKI車の場合
レバー距離を近くにした場合、クラッチスイッチが作動しなくなる場合があります。
※スイッチが作動しない場合はクラッチレバーの距離を少し遠くにしてスイッチが作動する範囲でご使用ください。
(エンジンが始動できない、エラー表示がでるなどの症状が発生する恐れがあります)

- アジャストストッパー 別付けの場合
付属のアジャストストッパーをクラッチホルダー下側に取り付けてください。
クラッチホルダーとピボットナットの間、付属のアジャストストッパーを挟み込んで組付けます。
※ナットの掛かり代が少なくなる為、付属のロックナットをご使用ください。(代表車種 : GB350S)



本製品の内容は令和04年06月現在のものです/220602TNK02

株式会社 アクティブ

〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561)72-7011 FAX (0561)72-7012
URL <http://www.acv.co.jp>